



# Shinkoh News

——川口新郷工業団地協同組合——



第67回一水会展 (2005) 「平穏のモスタル」 森 敬介氏

'05 OCT.68

発行日／平成17年10月31日 発行／川口新郷工業団地協同組合 発行責任者／石川義明 編集責任者／矢野 剛

各委員会報告

◆総務委員会

委員長 矢野 剛

○組合視察・親睦旅行について  
十月に実施いたしました。報告は、後記のとおりです。  
○平成十八年新春祝賀会について  
恒例の新春祝賀会を十八年一月下旬に開催いたします。

◆電力委員会

委員長 萩原伸宜

○十七年夏季ピーク時間調整協力お礼  
当組合への一括電気供給元、東京電力(株)との契約により次の要領により実施していましたが、成功裡に終わりましたのでご報告します。  
・実施月  
平成十七年七月一日～九月三〇日  
・調整時間  
午後一時～午後一時三十分の三十分間  
これは、地球温暖化対策、電力自由化の一環として東京電力から夏季期間中の電気使用最大ピークを抑えたいとの依頼があり実施したものです。ご協力ありがとうございました。  
○これからの設備資金等について  
今後十五年間の変電所点検費用、計測器、備品等の試算を行い、計画的に、適切な設備・補修・点検を行なえるよう検討しております。  
○変電設備点検実施のお礼  
平成十七年十月三〇日、変電所の定

期点検並びに保守管理の為「団地内停電」を実施させていただきました。組合員の皆様にはご迷惑をおかけいたしましたがおかげさまで無事に完了いたしました。ご理解ご協力ありがとうございました。  
○分散電源について  
電気を単に一括購入するだけでなく、他の電源を確保(利用)することで安い電気を導入、組合員に還元することの調査研究を行っています。

◆事業委員会

委員長 荻山孝夫

○団地内にプランター設置  
不法投棄防止、環境美化を目的として、Bブロック中原建設(株)第二工場角地に草花プランターを設置しました。  
○組合員各自で工場周辺の緑化に取り組んでいるとは思いますが、時々水をやったりなど可愛がって下さるようお願いいたします。  
○永平寺めぐり  
平成十七年十一月十九日(土)～二十日(日)の一泊二日で、曹洞宗大本山「永平寺」、湖東三山「百濟寺・金剛輪寺・西明寺」を参拝します。これは、今年四月十六日結願となりました「秩父礼所めぐり」参加者を中心に計画されたものです。  
(株)川口鍛工所石田昭氏にお骨折りのたき永平寺を特別拝観、また、湖

東三山は紅葉のきれいな事で有名な名刹です。  
○「合同清掃」の実施について  
今年度合同清掃を左記のとおり実施させていただきます。

平成十七年十一月十日(木)

○健康診断  
胃検診が九月二十八日、一般検診を十月五日、済生会川口検診センターの巡回健康診断により新工会館にて実施。  
延総受診者数は、二六三名でした。なお、川口市より定期健康診断料の一部に対し補助金の交付が受けられます。

◆企画委員会

委員長 小林玖仁男

○「ゆうゆう歩道」看板設置について  
今年度は、緩衝緑地帯・南側(毛長川沿い)のゆうゆう歩道に  
①ゆうゆう歩道の趣旨等を記載した説明看板二基  
②ポール・アーチタイプのメイン看板二基を設置すべく準備を進めております。  
設置は年内に予定、来年度にもう一方の緩衝緑地帯・北側に設置する計画でおります。

○「指圧マッサージ」オープン  
当組合新工会館一階小会議室にて、指圧マッサージを開始する予定です。今のところ、週のうち曜日を決め「整体師」にきてもらい実施する準備をしています。  
詳細が決まりましたら、ご案内いたします。料金は通常よりも割安に設定しますので、どうぞご利用の程お願いいたします。

表紙作品紹介



前理事長 敬介氏

二〇〇五年「一水会展」(開催・東京都美術館、期間・九月十八日～十月三日)に出品し、会員に推挙された記念すべき森敬介前理事長の作品。  
平成十四年、十六年と二度にわたり名誉ある「安井曾太郎奨励賞」を受賞したこともあり会友から「会員」になられたとのこと、誠にめでたいと思います。  
\*題名中の「モスタル」とはボスニアの町で、内戦により破壊されたが、近時復興され、世界遺産に登録された歴史ある小さな町である。

組合親睦旅行報告

平成十七年十月三日(日)・二十四日(月)一泊二日の熱海にて総勢三十五名の親睦旅行を実施しました。  
宿泊は、迎賓館 熱海「小嵐亭」、懇親会が、矢野総委員長の司会により、石川理事長の挨拶、続く大西副理事長の乾杯で開始されました。

選りぬかれた芸子さんの華やかな踊りもあり、楽しいひと時を過ごし、久保木専務理事の中締め挨拶・イズミ化成樋口社長の恒例の三本締めによりお開きとなりました。



小嵐亭は、その前身を明治中期、当時、東宮太夫(皇太子の教育主任)の要職にあった曾我祐準(すけのり)子爵の別荘として建立され、避寒地として多くの文人、墨客が訪れていたそうです。



第一回ボーリング大会

平成十七年十月十四日、新郷グラウンドボールにて、参加者七十二名、十八チームで実施、石川理事長のあいさつ・始球式のあと二ゲームでの熱戦を繰り広げました。

◎団体賞(敬称略)

- 優勝 石川金属機工 プロ
- 準優勝 川口鍛工所
- 三位 明光社タカハシボンバース
- 七位 モリチュウBチーム
- 各チームの成績は次のとおり

◎個人賞の皆様(敬称略)

- 優勝 片野照光
- 準優勝 佐藤勝志
- 三位 石垣裕利
- 四位 荒関健司
- 五位 大西壯三郎
- 六位 荻山孝夫
- 七位 福富孝志
- 八位 横山志穂美
- 九位 丸山卓士
- 十位 増島邦夫
- 十一位 西山暢宏
- 十二位 栗原 宏
- 十三位 ダブリン
- 十四位 森 一輝
- 十五位 小山孝光
- 十六位 日比野寿紀
- 十七位 潘 代国
- 十八位 孫 暁又
- メーカ 厚澤俊寿

◎特別賞の皆様(敬称略)

- 理事長賞 松本良男
- 別所 豊
- 副理事長賞 田辺時志
- 総務委員長賞 穂積和彦
- 事業委員長賞 草薙幸夫



表彰式、大西副理事長の閉会のあいさつにより和気あいあいと盛会のうちに終了しました。

平成17年度第1回ボーリング大会得点表

順位	チーム名	1G	2G	計	HP	合計
1	石川金属機工イシキンドットプロ	703	706	1409	30	1469
2	川口鍛工所	543	623	1166		1166
3	明光社 タカハシボンバース	546	595	1141		1141
4	モリチュウMチーム	470	596	1066	20	1106
5	川口トラック協同組合	349	557	906	90	1086
6	大西鍛工所	542	420	962	60	1082
7	モリチュウBチーム	515	541	1056		1056
8	杓屋製作所	510	465	975	40	1055
9	精研クロム工業所	475	548	1023	10	1043
10	組合事務局	549	464	1013		1013
11	明光社 明日BEST	431	541	972		972
12	粉末機械工業	454	468	922		922
13	イズミ化成	387	487	874	20	914
14	中原建設	423	460	883		883
15	茂田製作所	445	410	855	10	875
16	石川金属機工イシキンドットパワー	379	416	795	40	875
17	石川金属機工イシキンドットやんわり	335	376	711	80	871
18	川口板金機	414	310	724		724

## 中小企業団体全国大会に参加!

平成十七年九月十五日、石川理事長以下六名でもって、中小企業団体中央会が主催する第五七回全国大会に参加した。

場所は、北海道札幌市所在の札幌ドーム、参加人数は全国各地から集まったおよそ八〇〇〇人。

会場では、政府に対し、デフレ脱却のための経済対策、中小企業対策を講ずるべきとし、「景気対策、中小企業対策の充実・強化」「中小企業金融対策の充実」「景気・経営環境に配慮した税制の見直しと中小企業関係税制等の充実・強化」ほか中小企業を重視した労働・教育政策、社会保障制度改革に関わる企業負担の抑制など十三項目を決議し、もって、経済産業大臣等に早急に実現すべきと要請を行った。



## 石川金属機工株

### 中央会で事例発表!

平成十七年七月二六日、埼玉県中小企業団体中央会主催の「六五歳雇用導入プロジェクト」構成企業全体会議（経験交流会議）にて、同社は早くから六五歳定年を実施、成功している企業として依頼があり、交流会議の席で同社石川総務部長の事例発表となったもの。

なお、本会議同席の社長石川義明氏は「六五歳継続雇用等達成会議」委員に就任している。

### 【発表内容】

- 従業員数 四十名
- 平均年齢 四五歳
- 事業内容 舶用品設計・製造業
- 定年年齢 六五歳
- 定年後の継続雇用 希望者全員を正社員として、七十歳まで再雇用する。
- 制度導入の背景と目的 高年齢者の比率は高まっているが、技術・経験は何事にも代え難く、会社の財産と考えている。
- 導入した制度の概要・特徴 高年齢者の熟練技能と豊富な経験を生かし、それを若者へ伝承してもらおう。
- 制度導入に際しての検討事項等 労働災害を防止するため、また、

体力負担がかからぬよう、一層の機械化を図った。

- 導入後の効果 若者へ伝承すると言う指導的立場になるので、高年齢者にも元気な意欲が出てきた。



## 東京都教師当団地工場見学

平成十七年八月二三日、足立区立入谷小学校の山田誠校長以下九名が、当団地内二工場を見学した。教員の夏季研修の一環として要請のあったもので、川口市からの紹介とのこと。

二工場で三十分との事でしたが、いずれの工場も三十分以上の見学で大幅に予定時間が超過するほどの熱心さであり、当団地へ来る前に足立区のリサイクル工場等を見学してきたが、特に当団地の二工場は印象に残るものでしたとは見学を終えた山田校長の感想でありました。

## ●石川金属機工株 鋳物工場

社長室で一貫した製造工程・ビデオ視聴のあと実際の工場を見学、完成品およびたまたま作業していた鋳込み作業の一部を見学した。



## ●株明光社 製本工場

裁断前の印刷物（一面十六ページ分）、裁断、製本、糊付け、表紙仕上げなど完成本に至るまでを、工程毎に最新機械を実際に稼働させながら説明を行った。

